

# 進路ニュース **みらい** 60号



広島市立広島特別支援学校 校長 中尾 秀行  
(発行 進路指導部 広報係)

## 2学期の進路学習 ～高等部第1学年～

10月に行ったⅢ類型の進路学習『高2職場体験実習から学ぶ』では、施設実習と企業実習を行った先輩のインタビューや実習のビデオを視聴し、学校と職場の違いについて学習しました。初めての職場に自力で通勤されたことや休憩時間が学校より少ないことなどが、生徒の印象に残ったようです。また、Ⅰ・Ⅱ類型の生徒の『仕事を体験しよう』では、ウエス作り、缶つぶし、ねじ締め、タオルたたみ、じゃがいもの袋詰め、鍋・スプーン拭きなどの仕事を体験しました。教師の指示を聞いて手順を守りながら取り組み、終了後には、またやってみたいものや苦手にしたものなどをお互いに交流するなどして、仕事について考える機会となりました。

職業コースでは、10月にフレスタ横川店に職場見学に行きました。バックヤードの見学や来店したお客さんへの籠渡しの体験、そして、午後からは求められる人材についての講演を聴きました。生徒にとって、接客において笑顔と元気な声で挨拶することがとても重要だということを学ぶことができ、とても有意義な見学になったようです。

12月には、普通科の『職場見学』があります。施設・企業等を訪問し、現場で行っている活動や作業を直接見たり、仕事をその場で体験させてもらったりすることで、学校とは全く違う雰囲気や、働くために大事なことは何かということ学びます。

3学期は、普通科が1月に5日間の『校内実習』に挑戦します。五つの作業グループに分かれての実習に期待感いっぱい、充実した実習になるように取り組んでいきたいと思ひます。また、職業コースでは『職場実習1』が始まります。「勤労観・職業観」を育み、実りのある実習にしていきたいと思ひます。

## 職場体験実習・保護者対象職場見学 ～高等部第2学年～

5月から始まった職場体験実習もいよいよ12月で終わりです。「分からないことは恥ずかしながら質問しよう。」「一人で通うことを頑張ろう。」「休まずに頑張ろう。」などと、それぞれに目標をもって取り組んできました。しかし学校とは異なり、年上の人が多くいる環境や初めての活動には緊張や不安もありました。1日目にできなかったことができるようになる人や、練習してきた挨拶が大きな声でできた人などそれぞれの成長や成果が感じられる実習になりました。この実習で経験したことや反省会での振り返り等を今後の学校生活に生かしていきたいと思ひます。保護者の皆様は実習の見学打ち合わせ、通勤・通所の練習、持ち物や服装の準備など、多大な御協力ありがとうございました。12月からは、一般就労希望者を対象に2回目の職場体験実習が始まっています。引き続き御協力をよろしくお願いいたします。



荷物を仕分けしました。

クッキーを作りました。



11月10日より保護者対象職場見学が始まりました。いろいろな職場の仕事・活動内容や通勤・通所方法等の情報を知り、卒業後の進路を考える上での参考とすることをねらいとしています。この見学では実際に施設・作業所で仕事をしている様子を近くで見せていただき、施設長をはじめ職員の方から話を伺う時間を取っています。我が子の卒業後の姿をイメージしながら、熱心に質問をされる保護者の方が多く、1時間～1時間半があつという間に過ぎていきました。また、今まで進路ガイダンスや研修会などで聞いていた「福祉サービス」について具体的に分かってくるのもこの保護者見学です。この見学や職場体験実習を踏まえて3年生に向けての進路懇談を行っていききたいと思います。

## 卒業後の生活に向けて ～高等部第3学年～

11月12日に行いました保護者進路研修会には多数の御参加、ありがとうございました。自立支援課の方にお越しいたごき、主に福祉サービス利用の申請手続きやサービス等利用計画についてお話いただきました。また、「生活介護」「就労継続支援B型」の施設・作業所を利用希望の方には12月1日～12日に居住区の区役所にて支給申請をしていただいています。空いている人数に対して希望者の人数が上回った場合、抽選が行われます。抽選は1月下旬の予定で、対象の御家庭には1月中旬に案内が届く予定です。

福祉サービス（生活介護・就労継続支援A型/B型・自立訓練など）を利用するにはH27年4月からサービス等利用計画が必須となります。どこの相談支援事業所に作成してもらおうかお決まりでしょうか。またはセルフプランで作るという方もいらっしゃると思います。まずは計画案を立てることから始まりますが、この計画案がないとサービスの利用が受けられませんのでご注意ください。

申請（生介・B型等）→ 障害支援区分認定（生介） → サービス等利用計画案の作成  
→ 支給決定 → 受給者証の交付 → 4月からの利用

※ A型事業所や新たに立ち上がる事業所については申請時期は異なります。

卒業まで残り3か月足らずとなりました。3学期には同窓会についての進路学習や、進路先との引き継ぎ会などを行っていきます。御家庭でも、卒業後の生活を見据えた話を冬休みの間にゆっくりお子さまと話をされてみてはいかがでしょうか。

## 企業が求める人材 ～就職支援教員（JST）より～

就職志望生徒の企業開拓や就職支援活動も3年目になりました。現在、高等部第3学年就職志望者のほとんどは職場実習を終え、約8割が内定しました。今年は職業コースが初めて卒業する年ですが、その内数人は長時間働けることもあり、8時間勤務の正社員で内定することもできました。今後3学期に向けて、まだ決まっていない生徒の就職に全力を傾け、進路決定に向けて頑張っていきます。

実習の結果を顧みたり、成功事例や失敗事例、また多くの企業と電話や訪問をしたりして感じることは、毎年同じです。企業が求める人材で特に重要なのは、まず①働く意欲が強いことです。次には、②社会人としての基本的なマナー（挨拶ができ、礼儀や態度が良いこと、元気で明るいこと）が身に付いていること。③体力があること、④公共交通機関が利用できること。そして⑤志望する仕事と適性がマッチして、きちんと指示されたとおりに仕事できることです。また⑥タイミングが大事です。志望職種を早く決定することです。そのためにも、職種や通勤の幅を広げることがとても大切になってきます。

就労を希望する生徒の保護者の方には、家庭でのしつけや家事手伝いなどを通じて、働く力やコミュニケーション力を身に付けさせるようご協力をお願いします。

毎年生徒数が急増し、就職志望生徒も増加の一途です。雇用の可能性がある企業開拓は大変ですが、保護者の方にも、色々実習にチャレンジさせることや希望職種を早く決定することなど、御協力をお願いします。

## 卒業一年目の生徒の様子 ～アフターケアより～

本校では卒業後3年間、生徒の進路先や家庭に連絡をして様子を伺っています。卒業後一年目は卒業時の担任が中心となって春と冬に各家庭へ電話連絡を行います。また夏季休業中には進路先を訪問して、卒業生が働いている様子を見させていただいたり、職場の方からそれぞれの状況を教えていただいたりしています。

今年3月に卒業した第19期生48名についても全員の様子を確認しました。多くの卒業生が新しい環境にも慣れ、他の利用者の方たちと一緒に仕事に励み、楽しく生活を送っている様子が伺えました。その一方で学校時代とは違う環境や長時間の仕事などで体調を崩すなどのケースもありました。旧担任と連携をしながら相談機関にかかるなどの取り組みも行っています。今後も進路先や家庭と連携を図り、引き続きアフターケアを行っていきます。

## ～お祭り・イベントの御案内～

施設・作業所よりイベントの御案内が届いております。詳しくは、担任または学年の進路担当にお問い合わせください。

クリスマスバザー アイ・サン・サン作業所	12/19（金）20（土） 10:00～15:00	模擬店、食事など 西区鈴が峰町41-1 TEL 277-4410
-------------------------	------------------------------	--

